## 職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設i	置認可年月	日校	長名	_	168-0063	所在地			
東放学園専門	学校	昭	和54年4月1	日 堀内	和人	(住所)	東京都杉並区和泉203-3323-8531	2-4-1			
設置者名		設.	立認可年月	日 代表	者名	(電話)		所在地			
学校法人東放	学園	昭	和54年4月1	日 斉藤	矮 晃		168-0063 東京都杉並区和泉2	2-4-1			
分野		認定課程名	Š	認定学科名	3	(電話)	03-3323-8531 『士認定年度	高度専門士認定	年度	職業実践	専門課程認定年度
工業	I	業専門課	程	放送技術科	4	平成	30(2018)年度	-		令和	□ 1(2019)年度
学科の目的								引する実践教育、コミュ・ ーテインメントの発展に			
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)	映像音響		資格認定、	青報処理技能検定、E	本語ワープ	プロ検定					
修業年限	昼夜	全課程の	修了に必要 単位	な総授業時数又は総 ī数	講	義	演習	実習	実	験	実技
2	昼間	※単位時間 かに記入	、単位いずれ	1,700 単位時間 – 単位		単位時間 ・単位	300 単位時間 - 単位	1,470 単位時間 - 単位		単位時間単位	単位時間 一単位
生徒総定員	生徒乳	<b>美員(A)</b>	留学生	数(生徒実員の内数)(B)		副合(B/A)					+12
204 人	165	Д		20 人	12	. %					
	■卒業者		:	68		人					
	■就職希 ■就職者	·望者数(D ·数(F)	)) : :	63 61		<del>-</del>					
	■地元就	職者数(F		52		<u> </u>					
	■就職率		. — ±± m + -	97		%					
	■就職者	に占める地	也元就職者 <i>の</i>	·割合 (F/E) 85		%					
	■卒業者	に占める就	職者の割合								
就職等の状況	■進学者			90 1		<u>%</u> 人					
ONLY TO VENEZUE	■その他										
	その他6名	<b>5</b>									
	(令和	5	年度卒業者	に関する令和4年5月	1日時点の	情報)					
	■主な就	職先、業界	等								
	(令和5年度										
	(株)TBSア	クト、(株)フジ	<b>ジ・メディア・</b>	テクノロジー、㈱テイ	クシステム	ズ、㈱バス	.ク、(株)スウィッシュ・シ	ジャパン、㈱オムニバ	ス・ジャパン	ノ、(株)ヴェル	レトほか
			等から第三				無				
第三者による 学校評価			下について任	<b>尼都</b>			-3-31	価結果を掲載した			
テルコー		評価団体:			受審年月:			価結果を掲載した ームページURL			
当該学科の											
ホームページ URL	https://w	ww.tohoga	kuen.ac.jp/	toho/technique/							
	(A:単f	立時間によ	る算定)								
	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	総授業時数							2, 100	単位時間	
				・ と連携した実験・実	≧習・宝技(	の授業時数				単位時間	
				と連携した演習の授		// // // // // // // // // // // // /				単位時間	
			うち必修授							単位時間	
			_	うち企業等と連携し	た必修の生	10年,中平	・実はの揺業時粉			単位時間	
			/ > ± A #	うち企業等と連携し						単位時間	
企業等と連携した			(うち企業	等と連携したインタ	ーフンツ	ノの授業時	9X./		0	単位時間	
実習等の実施状況 (A、Bいずれか	(C = 2)	<b>出来に し</b> ず	管中、								
に記入)	(日:単1	立数による総授業時数								出上	
		<b>応</b> 授来時		「し 油催! よ 中瓜 一	200 0744	<b>○</b>   □ ◆ □ + □ ·				単位	
				『と連携した実験・実 『ト連携』 <del>た</del> 湾圏の場		の技未時数				単位	
				を連携した演習の授	表符数					単位	
			うち必修授		1 2 15					単位	
				うち企業等と連携し						単位	
				うち企業等と連携し			*			単位	
			(うち企業	等と連携したインタ	ーンシップ	ブの授業時	数)		_	単位	
		0 +	W11	910 t Mr 3	M 11 mm .						
				果程を修了した後、 <sup>自</sup> 教育等に従事した者		/± 45.24	<b>达到罢甘进生712~</b>	百馀1旦)		,	
		て、当該軍	専門課程の何	多業年限と当該業務1 六年以上となる者		(守19字	校設置基準第41条第1項	<b>スガ</b> ( ウ )	4	人	
		たが同じ	- 四昇して	、子以上には句目							
		② 学士(	の学位を有っ	する者等		(専修学	校設置基準第41条第1項	頁第2号)	5	人	
教員の属性(専任		③ 高等	学校教諭等網	圣験者		(専修学	校設置基準第41条第1項	頁第3号)	0	人	
教員について記 入)		④ 修士(	の学位又は	専門職学位		(専修学	校設置基準第41条第1項	頁第4号)	0	人	
χ,		<ul><li>⑤ そのf</li></ul>				(専修学	校設置基準第41条第1項	頁第5号)		<u> </u>	
		計								<u>Д</u>	
		ПI							9	^	
		1.57	807:		b. 11.7.1.1	.d. l. = *	Lord The Area Co				
		上記①~(	5)のうち、5 の実務の能	実務家教員(分野にる りを有する者を想定)	ぉけるおお □の数	むね5年以	上の実務の経験を有	し、か	3	人	

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本 方針

高度な実践力や威力の発揮に欠かせない人間性や自立心を育み、環境や技術等の変化が著しい当該業界において順応力を持った人材を輩出するために、

- ①学生が享受すべき知識や技術について、連携企業との日常的なコミュニケーション・意見交換を通じて、教育課程の編成や教育環境の構築に関して、積極的に反映させる事。
- ②就職先ともなり得る連携企業に所属する社員を講師として招聘し、実習・演習授業において実利性・専門性が高いカリ キュラムを構成する事。

以上を、企業等との組織的な連携の基本方針としている。

## (2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

学校長を委員長とし、以下、副校長、教務教育部長の他、就職指導や就職先企業の交渉等を主な業務とする学務管理部業務主任や学科運営を主たる業務とする学科主任を学内の委員とし、学科が委嘱する業界企業の方と業界関連団体に所属し、実践の環境を熟知し、あるいはそれらを俯瞰し統括する立場の方を学外の委員として構成している。

学外委員からは当該業界の動向や変化等について、学内委員からは学事や学生の動向等について意見交換を行い、積極的な情報共有を図る。

また、カリキュラムのあり方や授業の構成について、同業界において求める人材像や育むべき人間性や実践力について等、これらの具体的要件に関しても意見交換や議論を行い、教育課程決定の基とする場として位置付けている。

当委員会の内容は、学内委員により学科毎に実施されているカリキュラム会議で発議がなされ、学科担当職員との意見交換を経て、重要度の高い項目等から教育課程の編成に取り入れられる。反映された項目は、次回以降の同委員会でフィードバックがなされ、今後の会議運営に役立てる事とする。以上を教育課程の編成に関する意思決定の過程としている。

#### (3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年3月31日現在

名 前	所 属	任期	種別
藤延 直道	協同組合 日本映像事業協会	令和5年4月1日~ 令和6年3月31日(1年間)	1
森 俊文	一般社団法人 日本ポストプロダクション協会顧問	令和5年4月1日~ 令和6年3月31日(1年間)	1
竹田 和史	株式会社 ブルーフラッグ 制作部	令和5年4月1日~ 令和6年3月31日 (1年間)	3
長谷川 一彦	株式会社東京サウンド・プロダクションビデオセンター編集課	令和5年4月1日~ 令和6年3月31日 (1年間)	3
冨田 健吾	株式会社 ブル 常務取締役	令和5年4月1日~ 令和6年3月31日 (1年間)	3
市川 一弘	株式会社共立取締役 管理本部長	令和5年4月1日~ 令和6年3月31日 (1年間)	3
高津 勝仁	松竹衣装株式会社 営業本部 映像部部長	令和5年4月1日~ 令和6年3月31日 (1年間)	3
堀内 和人	東放学園専門学校 校長 教育課程編成委員会 委員長	令和5年4月1日~ 令和6年3月31日 (1年間)	_
笹原 恭	東放学園専門学校 教務教育部長	令和5年4月1日~ 令和6年3月31日 (1年間)	_
木戸 司	東放学園専門学校 学務管理部長	令和5年4月1日~ 令和6年3月31日 (1年間)	_
松本 侑樹	東放学園専門学校 教務教育部 放送技術科 学科主任	令和5年4月1日~ 令和6年3月31日 (1年間)	_

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。

- (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
  - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
  - ②学会や学術機関等の有識者
  - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

# (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (9月、3月)

(開催日時(実績))

第1回 令和5年9月22日 14:00~16:00 第2回 令和6年3月29日 14:00~16:00

## (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

- ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
- ・昨今ビデオエンジニア志望を求める企業が多いことから、関連企業と連携した専門科目を実施していることへの評価をいただいた。引き続き大学との差別化を意識した実技科目拡充を図る。
- ・ドラマ以外の分野でもカラーグレーディングやLog、LUT等の知識は求められるようになってきているとの提言に対して、関連する科目を複数新規開講し、同分野における強化を図った。

#### 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

#### (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

- ①業界の多様化に併せる事を目的とした映像技術全方位的な教育、技術革新と多様化が進む現場に対応する教育等を 重点項目としている本学科において、これらの目的を達成するため、テレビ・インターネットやドラマ・バラエティ、撮影や編 集等と分野を限定せず、広範囲に渡り業務を担当している企業、学生の就業先となり得る連携すべき企業を選択する事。 ②「現場が必要とする人材」を最も効果的に育む事ができる、現場の一線で活躍している企業や外部講師から助言をいた だき、それを積極的に反映させていく事。
- ③実習・演習授業において、授業回毎の具体的な内容や、学生の習熟度を鑑みながらの教育の程度・水準等について、 学内の学科担当職員と議論や意見交換を図る等、同企業との連携を図りながら授業を担当していただく事。 以上3項目を、企業等との連携に関する基本方針としている。

## (2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

本学科1年次では、撮影や編集、映像信号・画質管理等の放送・映像技術に関わる各分野において、将来の高度な実践力を身につけるための実習・演習授業を実施している。各分野の職種や業務に従事している企業と連携し授業を担当いただき、学生の理解度に応じたトレーニングを施しながら、指導内容の習熟度や関連知識の理解度等を勘案しながら学修成果の評価を実施していただいている。

2年次では、隣接する他職種の知識や技術を理解しながら、さらに実践力を高めるために、番組・作品制作系の総合的な実習・演習を実施。各分野の一戦で活躍している企業と連携し授業を担当いただき、学修成果の評価を実施していただいている。

また、連携企業や外部講師を招聘し、学科担当職員全員・就職担当職員との懇談の場である講師会を実施。連携企業や 講師との意見交換と情報共有を図り、各担当授業のシラバスや具体的な実習・演習内容を検討したり確認したりしながら、 教育課程の充実と教育内容・学校職員の質向上に努めている。

上記会議体のみならず、連携企業や協力いただいている外部講師とは、定常的に当該現場の動向や変化、学生の資質等 の情報を交換しながら、細やかな話し合い・コミュニケーションを通して、上記主旨同様の効果を図るための対策を常に施し ている。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科 目 概 要	連携企業等
ENG実習	被写体サイズ・光と光の色・音声収録等、屋外ロケーションに必要なノウハウを学びながら、実践力を身につけます。	(株)フレックス
Photoshop	PCを用いての画像処理の基礎や、映像編集に関わる演出技法と画像加工を習得します。	(株)東京サウンド・プロダクション
VE実習Ⅱ	テレビスタジオ・副調整室を構成する数百点の機材の目的・仕組みに加え、機材操作を理解しながら、カメラのカラー調整等の手順や関連技術を習得します。	(株)ニューテレス
スタジオワーク実習	テレビスタジオでの番組収録のワークフローから、大型ス   タジオカメラやクレーンカメラを用いたカメラワークについ  て、そのノウハウを体得します。	株式会社テイクシステムズ
ケーブル工作	現場で実際に使用されているケーブルを工具を用いて自作。同時に修理する能力も習得します。	株式会社 シーティエス

## 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

本校では、教員研修規程として教員研修の目的、方針、教員の責務、報告などの事項を定めており、教員の業務経歴や能力、担当する授業科目等に応じ、専攻分野の実務に関する知識、技術、技能並びに、学生に対する指導力等、教員の能力及び資質等の修得・向上を図るため、適宜、企業等と連携した研修を行うことを基本方針としている。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: SONY映像ソリューション内見会2023 連携企業等: ソニーマーケティング株式会社

期間: 令和5年6月15日 対象: 放送技術科 教員

ㅗㅗ テレビスタジオシステム及びシステムカメラ更新における視察を通して、最新SONY製機材の詳細と機材運

内容 用を把握する

研修名: ライブ・エンターテイメントEXPO 連携企業等: RX Japan株式会社

期間: 令和5年6月28日~6月30日 対象: 放送技術科 教員

ー、 DX時代の潮流に乗るライブ・エンターテイメント分野の最新事情を把握し、映像・照明の表現方法や関連

内容技術を理解する

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 分かりやすい資料の作り方研修 連携企業等:株式会社インソース

期間: 令和5年10月17日 対象: 東放学園 教員

内容 「相手に分かりやすく伝え、印象に残るワンペーパー資料」を作成するための5つのステップを、PCを使い

ながら実際に資料を作成して実践的に学び、業務に活かせる資料作成術を身につける

研修名: タイムマネジメント研修 連携企業等:株式会社インソース

期間: 令和6年3月20日 対象: 東放学園 教員

イクルに沿って習得する

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: JPPA韓国視察ツアー2024 連携企業等: - 般社団法人 日本ポストプロダクション協会

期間: 令和6年5月21日~5月25日 対象: 放送技術科 教員

内容 韓国内のポストプロダクションとバーチャルプロダクションを5日間かけて視察し、国内外のポスプロ関係

者とディスカッションすることで、将来を見据えた教育手法や人材輩出に役立てる

研修名: NHK技研公開2024 連携企業等: NHK放送技術研究所

期間: 令和6年5月30日~6月2日 対象: 放送技術科 教員

湾曲するLEDディスプレイやウェアラブルAR端末など、NHK技術部門の研究展示から次世代技術や教育

<sup>内谷</sup>機関に有効な環境設備を研究する

研修名: VIDEOGRAPHERSTOKYO2024 連携企業等: Vook

期間: 令和6年7月9日 対象: 放送技術科 教員

内容 バーチャルプロダクションなどの実写映像とCGなどのデジタルコンテンツ制作の最新事情を把握し、映像内容 ははなき 開発している かんこう しゅうこう かんこう

IM谷 制作を実践しているクリエイターとの意見交換を通して、将来を見据えた教育手法や人材輩出に役立てる

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 中堅社員研修 連携企業等:株式会社インソース

期間: 令和6年9月7日 対象: 東放学園 教員

内容
リーダーとして、フォロワーとして、業務の推進者として、管理職を補佐し、部の成果を出す組織の中核を

担う人材に必要なスキルを習得する

研修名: コーチング・コミュニケーション力向上セミナー 連携企業等: JMAマネジメントスクール

期間: 令和6年12月 対象: 東放学園 教員

<sup>内谷</sup> スを上げるためのスキルを、ビジネスコーチングの手法を通して学ぶ

- 4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係
- (1)学校関係者評価の基本方針
- (法人の基本方針)
- ①教育の一層の充実を図り、学校の目的および社会的使命を達成するため、各校における教育活動等の状況について 定期的に関係者評価を行い、随時改善を図ることを目的とする。
- ②学園は充実した学校評価制度の構築に努め、各校・各部門はこれを実施する体制を整える。
- ③各校・各部門は、情報公開を念頭に揚げ、より高い基準を設定し関係者評価を実施する。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	使命、行動指針、教育方針、理念、目的、育成人材像
(2)学校運営	運営方針、事業計画、運営組織、人事・給与制度、意思決定システ
(3)教育活動	目標の設定、教育方法・評価等、成績評価・単位認定等、資格・免許
(4)学修成果	就職率、資格・免許の取得率、卒業生の社会的評価
(5)学生支援	就職等進路、中途退学への対応、学生相談、学生生活、卒業生・社会
(6)教育環境	施設・設備、学外実習・インターンシップ等、防火・安全管理
(7)学生の受入れ募集	学生募集活動、入学選考、学納金
(8)財務	財務基盤、予算・収支計画、監査、財務情報の公開
(9)法令等の遵守	関係法令・設置基準の遵守、個人情報保護、学校評価、情報公開
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献の取組み、ボランティア活動の取組み
(11)国際交流	00000

- ※(10)及び(11)については任意記載。
- (3)学校関係者評価結果の活用状況

評価結果を活用し教育活動および学校運営の質の保証と向上に継続的に努めるための改善措置を随時行っている。委員の意見やアドバイスを尊重し「即対応できること」「時間をかけて取り組むこと」などを検討・判断し可能な限り出来得ることから改善を行っている。(カリキュラムの改革、機材の購入、教員のスキルアップなど)

【具体的な取り組み】

クラウド型学園ポータルサイトの活用などICT化を促進。実施・分析・検討・改善を繰り返しながら業務の効率化、学園サービスの充実を図り、新たな教育方法・学校運営を施行している。新たなカリキュラムの検討。日進月歩で変容していく関連業界の技術や働き方に合わせた授業内容や授業名を委員の意見の元、検討を重ね、実施に向けて準備をしている。

## (4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
岸田 真	桜美林大学 芸術文化群 教授	令和5年4月1日~令和7年3月 31日(2年)	教育・学校 運営に関
田口 裕基	日本大学 鶴ヶ丘高校 教諭	令和5年4月1日~令和7年3月 31日(2年)	高校教諭
小川 尚人	一般社団法人 日本ポストプロダクション協会	31日(2年)	就職先及 び関連業
本多 晋	株式会社レック 撮影部	令和5年4月1日~令和7年3月 31日(2年)	就職先及 び関連業
山下 安奈		令和5年4月1日~令和7年3月 31日(2年)	保護者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ · 広報誌等の刊行物 · その他( ))

URL: https://www.tohogakuen.ac.jp/about/valuation/

公表時期: 令和6年5月

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

認可された教育機関として、社会への説明責任を果たすとともに、教育の質保証・向上の観点から、学生、保護者、地域住民、関連業界企業等に教育活動や学校運営の状況に関する情報を提供する。また、同窓会組織や東放学園キャリアサポートセンターと連携を図り、卒業生や企業等から積極的に意見を聴取して、業界のニーズを反映した教育環境の整備や教育課程の編成に努める。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

( <u>-) (1) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 </u>	24, 24, 11, 2 1, 2 1, 2 1, 2 1, 2 1, 2 1
ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	基本理念、使命、行動指針、教育方針、学園概要、沿革、お問い合わせ
(2)各学科等の教育	募集学科・募集定員、放送技術科、放送技術科カリキュラム一覧、資格
(3)教職員	学園概要(校長名、教員数)
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職支援
(5)様々な教育活動・教育環境	部&クラブ活動紹介、機材・設備
(6)学生の生活支援	留学生活支援、学生寮
(7)学生納付金・修学支援	学費、奨学制度・教育ローン、奨学制度(留学生)
(8)学校の財務	情報公開(財務情報)
(9)学校評価	情報公開(自己評価報告書、学校関係者評価報告書)
(10)国際連携の状況	留学生の方へ
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(

))

URL: https://www.tohogakuen.ac.ip/about/valuation/

公表時期: 令和6年5月

## 授業科目等の概要

		分類			(工業専門課程 放送技術科)											
	必					配当	授	単	授	(業)	方法 実	場	rπ	教	貝	企業
ı		選択	自由	授業科目名	授業科目概要	年次	業	<b>一</b> 位	講	演	<b>験</b>	校	校	専	兼	等と
	修	必	1選択	XX1110	JXX:IT LIM Q	・学	時	数数	義	習	技実 習	内	外	任	任	の連
_						期	数				実					携
1 (	0			映像基礎	最新技術に関わるデジタル信号や伝送理 論、信号圧縮技術や信号測定機器の取り 扱いを学習し、日々変化を遂げる業界へ の順応力を育みます。	1 前	30		0			0		0		
2		0		映像配信基 礎	映像配信の業態や配信ネットワーク・通 信技術、インターネットマーケティング を含めた基礎知識を習得します。	1 前	30		0			0			0	
3 (	0			基礎数学	高校までの学習範囲の復習をしながら、電気 や映像信号の理解に欠かせない三角関数・複 素数・加法定理等を学習し、電気の知識や国 家資格取得に必要な知識を補完します。	1 前	30		0			0			0	
4 (	0			業界特別講座	放送業界で活躍している様々な分野のプロフェッショナルを招聘して行う、特別 講義です。	1後	30		0			0		0	0	
5 (	0			就職講座 I	就職活動の進め方、履歴書作成と面接突 破に欠かせない「自己理解」を、自分の 言葉で語れる力を身につけます。	1 前	30		0			0		0		
6 (	0			就職講座Ⅱ	「就職講座I」を基に、履歴書の具体的 な記入方法を習得。面接シミュレーショ ンによって実践的な力を身につけます。	1後	30		0			0		0		
7 (	0			電気概論	電気に関する基礎的な知識、実社会で役立つ電気の知識を習得し、その特性や利 便性に加え、危険性を理解します。	1後	30		0			0			0	
8		0		AfterEffect s I	PCを用いて映像合成処理の基礎から、映像編集に関わる演出技法を習得します。	1後	45				0	0			0	
9 (	0			ENG基礎	屋外でのロケーション等で使用される撮 影システムに関して、必要となる機材と 操作方法を基礎からトレーニングしま す。	1後	45				0	0		0		
10		0		イ ベ ン ト ワ ー ク ショップ I	ネ学が提供する実践の場を通して、他の スタッフの役割やチームワークを体系的 にトレーニングします。	1 前	30				0	0	0	0		
11		0		イ ベ ン ト ワ ー ク ショップⅡ	本学が提供する実践の場を通して、他のスタッフの役割やチームワークを体系的にトレーニング。「イベントワークショップ!」に続き、作業効率や正確性を高めます。	1後	15				0	0	0	0		
12		0		映像クリエ イティブ	グルーフに分かれ、実習形式でマルナカメラ のスイッチングシステムの構築からオペレー ションの基礎を理解し、番組収録を通じ技術 スタッフとして大切なスキルを身に付けま	1後	60				0	0		0		
13		0		映像表現ゼミI	本 様々な映像作品から使用機材や技術的ア ブローチを検証し、実際にシステム構築 や機材のオペレーションを再現します。	1後	45				0	0		0		
14		0		映像 ワーク ショップ	「カメラマンの役割と撮影技術」をテーマに、技術者としての映像表現方法や知識を習得します。	1 前	15				0	0			0	
15		0		音声基礎実習	音声ケーブルや信号の伝送、マイクロフォンの特性や各種機器間の接続方法 等、関連知識や技術の全般を学びます。	1 前	45				0	0		0		
16		0		カメラワー ク実習	「カメラワーク基礎」で体得した技術や 知識を用いて、番組ジャンルに即した環 境でのカメラワークのトレーニングを繰 り返し、実践力をさらに高めます。	1後	45				0	0		0		
17		0		校外学習I	映像機材の展示や企画展に参加し、最新 鋭の映像技術に関する見識を広げます。	1 前後	30				0		0	0		
18		0		スキルアッ プゼミ I	学内イベントのスタッフを通して、番組 制作における技術関連のスキルアップを 図り、他セクションの仕事内容の理解を 深めます。	1 前 後	30				0	0		0		
19 (	0			ス タ ジ オ ワーク実習	テレビスタジオでの番組収録のワークフ ローから、大型スタジオカメラやクレー ンカメラを用いたカメラワークについ て、そのノウハウを体得します。	1 前	45				0	0			0	0
20		0		DaVinciReso Ive	DaVinciResIveの基礎と機能を理解し、制作の過程においてDaViciResoIve (主にカラーとエディット) の一般的な機能を習得します。	1後	45				0	0			0	
21 (	0			テレビ中継 実習	テレビ中継に必要な電波伝搬の手順や、 業界標準の中継放送システムや最新の中 継方法の機材と操作を理解し、中継シ ミュレーションを実施します。	1後	60				0	0			0	
22		0		テロップデ ザイン	フォトショップの基本操作を学びながら ポストプロダクション業務に必要なテ ロップ作成のテクニックを学んでいきま す。	1 前	15				0	0			0	0
23		0		バーチャル プロダク ション	バーチャルで創られる映像コンテンツやライ ブイベントの制作過程やXR技術の基礎を学 び、実際の現場で使用する機材でバーチャル プロダクションを体験します。	1 前	15				0	0			0	0
24 (	0			ビジネスマ ナー	社会人として不可欠なビジネスマナーや コミュニケーションの重要性を認識し、 好感度の高いスキルを体得します。	1 前	30				0	0			0	0
25 (	0			ビデオ制作	カメラマン・映像編集に関わる番組制作 の「ワークフロー」の基礎知識とテク ニックを、チームワークを通して体型的 にトレーニングします。	1 前	60				0	0	0	0		
26		0		PC ス キ ル アップ	社会人として必須のスキルとなった書類 作成ソフトとDTPソフトの基本操作を 習得します。	1 前	30				0	0			0	
27 (	0			VE実習 I	番組制作に関わる、多数の機材間の伝送 信号の目的や特徴を理解し、実際の結線 作業を繰り返し経験しながら、各機材の 操作方法をトレーニングします。	1後	45				0	0			0	

_			_												
28		0		Photoshop	PCを用いての画像処理の基礎や、映像編集に関わる演出技法と画像加工を習得します。	1 後	45			0	0			0	0
29	0			Premiere Pro	業界標準の動画編集アプリケーション 「PremierePro」の操作方法を学び、動画 編集のノウハウを習得します。	1 後	45			0	0		0		
30		0		ライティン グテクニッ ク	カメラマンと共に番組制作を担う照明ス タッフの業務理解や、被写体への基礎的 なライティング方法や色温度等の関連知 識を習得します。	1 前	15			0	0			0	0
31		0		ロケーション番組制作	技術系の学科でありながら、それに拘ら 技術系の学科でありながら、それに拘ら ない、他のセクションや役割との関連 性、理解が必要な手法等を、チームワー クと作品制作を通して体得します。	1 後	90		0		0		0		
32		0		芸術鑑賞	ジャンルを問わない優れた映像作品の 数々を、プロに近いの目線で鑑賞。クリ エイターの感性やセンスを磨きます。	2 後	60	0			0		0		
33	0			就職講座Ⅲ	間近に控えた就職活動に向けて、優れた エントリーシート・優れた面接対応等、 「内定を勝ち取る」術を体得します。	2 前	30	0			0		0		
34		0		フ ォ ロ ー アップゼミ	採用活動を行っている企業を招聘し話を 伺い、求める人材像を通して魅力ある自 己表現の方法を学びます	2 後	30	0			0		0		
35		0		After Effects II	「After Effects I」の応用編として、映像編集に関わる演出技法と応用操作を習得します。	2 前	45			0	0			0	
36		0		ENG実習	被写体サイズ・光と光の色・音声収録 等、屋外ロケーションに必要なノウハウ を学びながら、実践力を身につけます。	2 前	45			0	0			0	0
37		0		イ ベ ン ト ワ ー ク ショップⅢ	学外のイベント会場での映像制作実習と 通して、目的論・方法論の理解、準備か ら撤収までのワークフローに関連する技 術力を高めます。	2 前	30			0	0	0	0		
38		0		イ ベ ン ト ワ ー ク ショップⅣ	今までの「イベントワークショップ」の 集大成。聴衆や観客への映像表現力を磨 き、関連作業の習熟度を向上させ、就職 後の実践力に繋げます。	2 後	15			0	0	0	0		
39		0		映 像 テ ク ニック	映像演出や映像構成の技法と、実際のテ クニックの関連付けを行いながら、カメ ラマンとしての実践力を磨きます。	2 前	45			0	0		0		
40		0		映像配信実 習	1年次の「映像配信基礎」の応用編。ビジネス面に焦点を当て、配信制作業務等の具体的事例に基づき、関連する技術や知識を習得します。	2 後	45			0	0			0	0
41		0		映像表現ゼ ミⅡ	映像作品の表現方法を学びながら技術的 視野を広げ、撮影・配信実習を通して必 要な技術スキルを体得します。	2 後	60			0	0		0		
42		0		音楽ライブ 実習	学外のホールを実習環境として音楽ライブを製作。必要な機材準備から本番・撤収までのすべてを実践します。	2 前	45			0	0	0	0		
43		0		オンライン 編集	編集専用の機材を使用し、現場と同じ ワークフローを体得。エディターとして の表現力や実践力を身につけます。	2 前	45			0	0			0	0
44		0		カ ラ ー グ レーディン グ	映像内で伝えているシナリオやストーリーに沿っ て色調を調整することで、より与えたい印象を補 強できるようグレーディングテクニックの基礎と 応用を実習を通じてマスターします。	2 前	15			0	0		0		
45		0		ケーブルエ 作	現場で実際に使用されているケーブルを 工具を用いて自作。同時に修理する能力 も習得します。	2 後	15			0	0			0	0
46		0		校外学習Ⅱ	映像機材の展示や企画展に参加し、最新 鋭の映像技術に関する見識を広げます。	2 前後	30			0		0	0		
47		0		スキルアッ プゼミⅡ	学内イベントのスタッフを通して、番組制作における技術関連のスキルアップを 図り、他セクションの仕事内容の理解を 深めます。	2 前後	30			0	0		0		
48		0		DIT講習	ドラマ制作、作品制作における、DITとしての考え方を理解した上で、撮影現場での作業を行ってもらい、その重要性を理解してもらいます。	2 前	15			0	0			0	
49		0		特機講習	最新の特機や定番の特機に実際に触れられる授業 になります。 現場で活躍する特機オペレーター が、長年の経験に基づいて、正しい特機の設置方 法、使用方法をレクチャーします。	2 前	15			0	0			0	0
50		0		ドラマ編集	業界標準の編集ソフト「Avid」を使用して 基本操作から総合課題として自主作品を 編集することにより、オペレーションと 編集テクニックを習得します。	2 前	15			0	0			0	
51	0			番組制作演習	各学科連携して、情報教養・パラエティ・音 楽ジャンルの番組制作シミュレーションを通 して、番組制作全般への理解・チームワーク と関連技術の向上を目指します。	2 前	210		0		0	0	0		
52		0		VE実習 II	テレビスタジオ・副調整室を構成する数 百点の機材の目的・仕組みに加え、機材 操作を理解しながら、カメラのカラー調 整等の手順や関連技術を習得します。	2 前	45			0	0			0	0
53		0		ロケーショ ン実習	実際の観光地に出向き、その環境の魅力・地の特徴等を映像表現し、視聴者に 伝えるための知識や撮影方法等技術を体 得します。	2 後	60			0	0	0	0		
_			合	ā†	53	科	目			2100	単	位(	単位	時	i)

	卒業要件及び履修方法	授業期間等	ŧ
卒業要件:	①期日までの学費納入 ②必修科目を含む、年間800時間以上、卒業時1700時間以上の修了認定	1 学年の学期区分	2 期
履修方法:	初回の授業(ガイダンス)で内容を確認し、期日までに履修科目の登録を行う	1 学期の授業期間	15 週

<sup>|</sup> 履修方法: 初回の授業 (カイタンス) で内容を確認し、期日までに履修料目の登録を行う | 1 学期の授業期間 | 15 (留意事項) | 1 一の授業料目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。 | 2 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。